



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 テクノホライゾン株式会社(旧会社名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社)

上場取引所 東

コード番号 6629 URL <https://www.technohorizon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 拓伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 水上 康

TEL 052-823-8551

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,754	15.1	138	82.6	88	88.3	34	95.5
2020年3月期第2四半期	11,491	32.4	797	164.4	753	149.5	764	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 18百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 749百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	2.57	
2020年3月期第2四半期	56.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	25,152	7,239	28.8
2020年3月期	21,117	7,460	35.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,239百万円 2020年3月期 7,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	0.6	1,500	3.9	1,400	1.1	1,300	1.5	96.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	21,063,240 株	2020年3月期	21,063,240 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	7,586,081 株	2020年3月期	7,586,081 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	13,477,159 株	2020年3月期2Q	13,477,295 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、IT化が一層進む「教育」市場、中国を中心に自動化ニーズが高まる「FA」市場、高度化が求められる「医療」市場、セキュリティや自動車関連などのマーケットがさらに進化する「安全・生活」市場の4つの市場を重点市場と定め、活動を強化しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高9,754百万円（前年同四半期比15.1%減）、営業利益138百万円（前年同四半期比82.6%減）、経常利益88百万円（前年同四半期比88.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事務所移転に伴う移転補償金89百万円を計上する一方、法人税等が139百万円であったこと等により34百万円（前年同四半期比95.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 光学事業

光学事業は、教育市場向けに書画カメラや電子黒板を販売することを主力事業としております。学校設備は、文部科学省主導でICT機器の導入を進めており、市場は拡大しています。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大で夏休みが短縮する等の影響を受け、電子黒板などの納入・設置工事が後倒しになったことにより、下期以降の業績に貢献する見込みです。また、M&A費用の一時費用を計上しました。

これらの結果、光学事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は6,181百万円（前年同四半期比23.3%減）、営業利益は103百万円（前年同四半期比81.7%減）となりました。

② 電子事業

電子事業の売上高は、主力事業であるFA関連機器が、設備投資意欲が後退し市況が悪化するも、労働力不足から来る自動化・省力化ニーズは高く、前期並水準を維持しました。また、前期に買収した企業が売上に貢献しました。一方、利益面では価格競争の激化や工場操業度の低下により利益率が悪化しました。

これらの結果、電子事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3,573百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は81百万円（前年同四半期比63.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は17,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,090百万円増加いたしました。これは主に連結の範囲の変更により、現金及び預金が618百万円、受取手形及び売掛金が693百万円、商品及び製品が405百万円、仕掛品が164百万円、原材料及び貯蔵品が445百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ944百万円増加いたしました。これは有形固定資産が48百万円、無形固定資産が575百万円、投資その他の資産が320百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は25,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,034百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は15,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,527百万円増加いたしました。これは主に連結の範囲の変更により、支払手形及び買掛金が508百万円、短期借入金が3,587百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が210百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は17,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,255百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が167百万円、為替換算調整勘定が56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.8%（前連結会計年度末は35.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月15日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,953,260	5,571,787
受取手形及び売掛金	4,249,241	4,943,075
電子記録債権	795,262	721,374
商品及び製品	1,598,224	2,003,480
仕掛品	915,304	1,079,747
原材料及び貯蔵品	1,358,005	1,803,122
その他	667,873	1,534,911
貸倒引当金	△29,014	△59,111
流動資産合計	14,508,158	17,598,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	952,949	967,245
土地	2,495,163	2,492,713
その他(純額)	552,029	588,456
有形固定資産合計	4,000,141	4,048,415
無形固定資産		
のれん	970,357	1,556,642
その他	390,002	379,613
無形固定資産合計	1,360,359	1,936,256
投資その他の資産		
その他	1,341,666	1,654,534
貸倒引当金	△92,628	△85,053
投資その他の資産合計	1,249,038	1,569,481
固定資産合計	6,609,539	7,554,153
資産合計	21,117,697	25,152,542
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,367,270	2,875,509
短期借入金	7,048,532	10,635,732
未払法人税等	227,538	122,645
賞与引当金	321,264	327,285
その他	1,152,075	1,683,330
流動負債合計	11,116,679	15,644,502
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	1,851,202	1,640,841
退職給付に係る負債	380,197	334,031
その他	258,685	243,304
固定負債合計	2,540,085	2,268,177
負債合計	13,656,764	17,912,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,486,269	3,486,269
利益剰余金	2,998,177	2,830,679
自己株式	△1,917,421	△1,917,421
株主資本合計	7,067,025	6,899,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,912	17,874
為替換算調整勘定	368,509	311,637
退職給付に係る調整累計額	13,484	10,823
その他の包括利益累計額合計	393,907	340,334
純資産合計	7,460,933	7,239,862
負債純資産合計	21,117,697	25,152,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,491,898	9,754,415
売上原価	8,279,002	7,051,059
売上総利益	3,212,895	2,703,355
販売費及び一般管理費	2,415,325	2,564,553
営業利益	797,570	138,802
営業外収益		
受取利息	1,488	3,133
受取配当金	836	937
持分法による投資利益	20,193	—
不動産賃貸料	7,530	6,474
貸倒引当金戻入額	—	6,500
その他	8,915	14,658
営業外収益合計	38,964	31,704
営業外費用		
支払利息	18,390	24,556
為替差損	59,944	36,014
持分法による投資損失	—	4,104
その他	4,738	17,406
営業外費用合計	83,073	82,081
経常利益	753,460	88,425
特別利益		
固定資産売却益	231,708	—
投資有価証券売却益	50	—
移転補償金	—	89,195
特別利益合計	231,758	89,195
特別損失		
固定資産売却損	1,083	—
固定資産除却損	393	2,996
その他	—	164
特別損失合計	1,477	3,161
税金等調整前四半期純利益	983,741	174,460
法人税等	219,623	139,800
四半期純利益	764,117	34,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	764,117	34,659

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	764,117	34,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,956	5,961
為替換算調整勘定	△18,738	△54,720
退職給付に係る調整額	3,203	△2,661
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,630	△2,151
その他の包括利益合計	△14,209	△53,572
四半期包括利益	749,908	△18,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	749,908	△18,912

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	983,741	174,460
減価償却費	199,919	205,105
のれん償却額	104,863	126,843
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,810	1,148
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△65,109	△74,368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,584	△9,163
受取利息及び受取配当金	△2,324	△4,071
支払利息	18,390	24,556
投資有価証券売却損益 (△は益)	△50	—
固定資産除却損	393	2,996
持分法による投資損益 (△は益)	△20,193	4,104
固定資産売却損益 (△は益)	△230,624	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,066,447	62,121
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,264,771	△724,598
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,049,553	240,472
その他	241,993	△177,735
小計	△38,269	△148,127
利息及び配当金の受取額	2,324	4,071
利息の支払額	△18,876	△25,703
法人税等の支払額	△246,543	△244,691
法人税等の還付額	137,800	181,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	△163,564	△233,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△243,216	△126,125
有形固定資産の売却による収入	404,220	—
無形固定資産の取得による支出	△38,281	△61,907
投資有価証券の取得による支出	△776	△901
投資有価証券の売却による収入	1,050	—
貸付けによる支出	—	△473,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△101,141	△1,368,025
関係会社株式の取得による支出	—	△208,544
その他	2,566	29,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,420	△2,208,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,075,651	3,550,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△411,519	△456,766
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,079	△15,926
配当金の支払額	△53,909	△202,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	693,143	3,075,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,907	△14,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	542,092	618,526
現金及び現金同等物の期首残高	2,068,294	4,953,260
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9,966	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,620,353	5,571,787

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社である(株)エルモ社が2020年7月3日付でEsco Pte. Ltd. の株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、2020年9月30日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社である(株)タイテックが2020年7月15日付で(株)ファインシステムの株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、(株)ファインシステムの決算日は2月末日であり、2020年8月31日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,059,355	3,432,542	11,491,898	—	11,491,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,041	1,182,579	1,331,621	△1,331,621	—
計	8,208,397	4,615,122	12,823,519	△1,331,621	11,491,898
セグメント利益	564,333	221,232	785,566	12,003	797,570

(注) 1. セグメント利益の調整額12,003千円は、セグメント間取引消去328,417千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△316,413千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,181,190	3,573,224	9,754,415	—	9,754,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131,450	630,615	762,065	△762,065	—
計	6,312,641	4,203,839	10,516,480	△762,065	9,754,415
セグメント利益	103,492	81,082	184,574	△45,771	138,802

(注) 1. セグメント利益の調整額△45,771千円は、セグメント間取引消去327,631千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△373,402千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「光学事業」セグメントにおいて、2020年7月3日付でEsco Pte. Ltd.の株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。このことにより、のれんが650,557千円発生しております。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

「電子事業」セグメントにおいて、2020年7月15日付で(株)ファインシステムの株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。このことにより、のれんが62,571千円発生しております。